



REINANZAKA SCOUT CLUB



霊南坂スカウト交流の場 2010年3月25日号
発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403

No.38

霊南坂教会

ベンチャー隊隊長 城所明利



最近ふと思
った事がある。
長い事スカウ
ト活動をして
いるが、同じだ
け霊南坂教会

う。シニア隊（現ベンチャー隊）
の集会中、大量のヤブ蚊対策で蚊取
り線香を焚いたが、1つでは全然効
き目が無く2つ3つと増やしてい
き、最終的に6つまで増やす羽目
に。当然の如くスカウトハウスは煙
で充満したが、それでも蚊に刺され
るよりマシだと気合で集会をして
いたら、背後でポトッと音がした。
カマキリが天井から落ちてきて床
に仰向けになっていた…。「蚊取り」
線香なのに大量に焚けばカマキリ
にも効く、という全く役に立たない
事を学習したがインパクトがあっ
た為、その頃の話をする時と何度か笑
い話として話題に上る事もあった。
また、緑と土のある良い環境だっ
たので、何度も中庭で重い家型テント
を建てて一泊キャンプを行わせて
頂いた。その頃の私の代が、灯油を
使用する携帯コンロ「ラジウス」を
使って炊事をした最後の世代とな
った事もあり、今でもその時の様子
はよく覚えている。

昔の教会と今の教会の間を繋ぐ、
個人的に思い出多き「霊南坂教会」
だった。

との付き合いがある訳だ。

思い出すと、昔の教会は石と木
のイメージがとても強い。木造ス
カウトハウス、かまぼこ倉庫、磨
いても輝きが戻らない年季の入っ
た木の壁や歩くと音の鳴る板床が
懐かしい。

そんな教会が生まれ変わる時が来
て今の教会になるのだが、その前
にもう1つ教会があった。

取り壊しから、今の教会が出来る
までの一時仮設の教会。仲間内での
愛称は「プレハブ教会」。

一時的とはいえ、礼拝堂はとても
綺麗で驚いた記憶がある。倉庫や
スカウトハウスは、まんまプレハ
ブだったので妙な愛称を付けてし
まった訳だ。

そこそこ緑に囲まれていたせい
か、色々な昆虫やら大きな蜘蛛や
らが当たり前の様に出没し、雨上
がりにはどこから来るのか、大抵
ガマガエルが大群で中庭にいた。
更にプレハブ倉庫にカエルが入り
込んでいた為に、踏んづけて悲鳴
を上げた事もあるが、今となって
はいい思い出という事にしておこ



*When you have a difficult job
to tackle, ask God to help
you to tackle it, and He will
give you strength. But you
must still do the tackling
yourself.*

Years for Boy Scouts



ベーデン・パウエル卿の言葉

*あなたが難しい問題に取り組みな
く
てはならない時、その困難に取り組
めるよう神様にお願ひしなさい。
きっと神様は力を与えて下さいま
す。しかし、自分も真正面から取り
組みなくてははいけません。*

霊南坂スカウトの現況

在籍（登録）人数

ボーイスカウト

ビーバー隊5名 カブ隊17名
ボーイスカウト隊8名、
ベンチャー隊2名

ローバースカウト隊5名
スカウト合計37名

リーダー、団委員の指導者合計32名

ガールスカウト

テンダーフット、ブラウニー、
ジュニア、シニア、レンジャー、
スカウト合計53名

リーダー、団委員、アダルト

指導者合計58名

2010年度 霊南坂スカウトクラブ総会報告

2010年2月21日(日)スカウトサンデーの午後、スカウトクラブ提供のエンターテイメントに続いて、総会を1階ホールにおいて倉持雅人兄の司会で2010年度総会を下記の通り開催しました。

開会の祈り 柳 健一 会長挨拶 小崎忠雄、

2009年事業報告 西郷崇子、 2009年決算報告 大槻敬太郎、

2010年事業計画案 田中新二、2010年予算案 大槻敬太郎、

その他、以下の通り出席者全員により討議されました。

*スカウトやリーダーの役にたつ事業を計画する。

*スカウトの抱えている問題が複雑化している。彼らの心のケア、子育ての悩みなどを専門家に相談できる機会を設ける。

*OB 渡辺誠兄のキャンプサイト下見と会員の親睦を兼ねて旅行会を計画する。

*役員への退任の件、澤田明秀兄・臼井純一兄の新任

閉会の祈り 塚田洋子

2010年度事業計画

1月16日	スカウト合同 「餅つき大会」
2月21日	スカウトサンデー礼拝・エンターテイメント 「Run Crew」 (HIPHOP)
3月13日	第20回 ボーイスカウト研修会 「スカウティングの源流を探る」
25日	クラブ会報 NO. 38 発行
5月29日	上級救急法講習会 (消防署に依頼)
6月26日	スグ! 役に立つ研修会
8月	ボーイ・ガールスカウト 各団キャンプ
9月4日	ボーイ・ガールスカウト合同キャンプファイヤー
10月9・10日	港区民祭り
23日	教会バザー
15日	クラブ会報 NO. 39 発行
12月11日	スカウト合同クリスマス

2009年度決算報告

霊南坂スカウトクラブ 2009年度決算報告
(2009年1月1日～2009年12月31日) 単位:円

科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	765,103	765,103	
年会費	300,000	324,000	3,000×108
入会金	10,000	2,000	1,000×2
賛助金・寄付金	60,000	107,000	
広告収入	15,000	24,000	6,000×4
雑収入	40,000	19,718	バザー売上増
受取利息	1,000	438	
(今年度収入)	(429,000)	(477,156)	
合計	1,191,103	1,242,259	

単位:円

科目	予算額	決算額	備考
教会感謝献金	30,000	30,000	
事業費	288,000	229,954	
(事業費内訳)	(45,000)	(45,400)	スカウトサンデー
	(65,000)	(48,000)	会報印刷費
	(20,000)	(20,000)	スカウト研修会補助金
	(100,000)	(100,000)	現役スカウト支援
	30,000	(13,464)	救急法講習会
	(43,000)	(3,000)	ゼースリンク
	(45,000)	(0)	リースメント作成
通信費	170,000	93,360	総会案内・会報郵送料
事務費	20,000	13,511	
会議費	20,000	25,137	
雑費	20,000	10,600	佐原先生録別
雑費	0	3,500	BPメッセージ集 7冊
小計	588,000	405,402	
前年度繰越金	636,103	836,857	
合計	1,242,259	1,242,259	

次年度繰越金内訳 現金 93,516円 郵便貯金 743,341円
上記の通りご報告申し上げます。

スカウトクラブ基金	
前年末残金	633,453円
受取利息	386円
収支差上	9,000円
今年末残金	642,839円

会計監査の結果適正に処理されていることを認めます。

2010年2月21日
霊南坂スカウトクラブ 会長 小崎忠雄
副会長 小林孝江
会計 大槻敬太郎
事務 後田きよみ
会計監査 日下部英一
監査 柳 健一

2010年度予算案

霊南坂スカウトクラブ 2010年度予算(案)
2010年1月1日～2010年12月31日 単位:円

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	836,857		教会感謝献金	30,000	
年会費	330,000	3,000×110	事業費	360,000	
入会金	10,000	1,000×10	(事業費内訳)	(45,000)	スカウトサンデー
賛助金・寄付金	70,000			(65,000)	会報印刷費
広告収入	18,000			(20,000)	スカウト研修会補助
雑収入	30,000	チーフ等売上		(100,000)	現役スカウト補助
受取利息	500			(30,000)	救急法講習会
				(100,000)	新企画の事業
			通信費	170,000	
			事務費	10,000	
			会議費	30,000	
			雑費	20,000	
			雑費	10,000	
			小計	430,000	
(今年度収入)	(458,500)		次年度繰越金	666,367	
合計	1,295,357		合計	1,295,357	

上記の通り2010年度の予算(案)をご提案いたします。

総会出席者(敬称略)

小崎忠雄、浅田きよみ、五十野和男、臼井純一、大槻敬太郎、日下部英一、倉持雅人、小田島典子、小林孝江、西郷崇子、澤田明秀、高玉大、田中新二、塚田洋子、戸田健次郎、内藤正樹、中島千賀子、西川安子、西谷芳美、檜垣君子、古谷久代、

スカウト運動を最初に始めた人はベーデン・パウエルという人です。

彼は1857年2月22日に生まれました。彼の父親は、教会の牧師でした。彼は、山や湖や川が近くにあったところで育ち、キャンプなどの様々な経験をしました。その経験がとても良かったので、自分と同じ体験を多くの人にしてもらいたいと思って、スカウト運動を始めたのです。

彼の大切なメッセージは、「金持ちになっても、社会的に成功しても、わがママができて、それによって幸せにはなれない...幸せを得るほんとうの道は、ほかの人に幸せを分け与えることにある...大人になっても、いつもスカウトのちかいとおきてを、かたく守り給え。」でした。

さて、ガリラヤの湖のそばの丘の上

で、5千人以上の人たちにイエスさまがお話をなさっておられました。

イエスさまのお弟子さんたちは、こんなに大勢では、みんなにパンを用意するのも無理だなと思いました。でも、この一人の子どもは違いました。「どうか、ぼくのお弁当を用いてください」と差し出したのです。

イエスさまは、「待っていました」とばかりに、その子どものパンを大切に受け取り、感謝の祈りを唱え、それを割いて、人々に分け与えられました。そうすると不思議なことに、そこにいるすべての人が満腹になったというのです。

この一人の子どもの大切なお弁当をイエスさまが受け取られると大きく豊かにされるのです。

イエスさまは私たちが自分を差し出

すことを待っておられるのです。

実は、イエスさまも自分の一番大切ないのちを私たちのために差し出してくださったのです。

なぜでしょうか。

それは、私たちが神さまのいのちに生きるように、十字架にかかってくださりよみがえってくださったのです。

スカウト運動を始めたあのベーデン・パウエルも、みんながイエスさまを信じてスカウト活動を喜んでいることを望んでおられます。イエスさまにつながって歩んでいきましょう。



スカウトクラブからHIP HOP ダンスショーをプレゼント



恒例のスカウトクラブからの今年のプレゼントは、東京都昭島市を中心に活動している女子、小・中・高生のHIPHOPグループ「Run Crew」によるダンスを楽しみました。

メンバーはみんな踊ることが大好きな仲よきなグループで、元気いっぱい踊ってくれました。

スカウトたちも音楽にのって一緒に踊り楽しいひとときを過ごしました。

スカウトサンデー

BS 可知俊太郎

スカウトサンデーとは、スカウティングの創始者ベーデン・パウエル卿の誕生日2月22日に、一番近い日曜日のことです。

この日は、朝、教会の人とガールスカウトと共に礼拝をして、いっしょにご飯を食べるという行事です。

ご飯は、スカウトのお母さんたちが心をこめて作ってくれるのでとてもおいしいし、ご飯の後、ダンスの発表やジャズコンサートなど、楽しいものもあります。

このスカウトサンデーがあることによって、いつも日曜日に教会学校に来ていない子もいっしょに祈りをささげることができるから、

1年に1回でもあった方が良いと思います。

スカウトサンデーでは、いつも教会に来ない親など、いろいろな人がいっしょに祈りをささげるので、これからもずっとスカウトサンデーには出続けようと思いました。



楽しかったクリスマス祝会 カブスカウト 池田慶太

12月12日楽しみにしていたクリスマス祝会の日になりました。大網1団、春日部7団、東京4団と集まりました。西脇牧師先生が礼拝で、「ちょうだいと言わないのにもらったものがあります。それは生命です。」と言われました。生命は神様からいただいたもので、大事にしなければいけないと思いました。その後劇をやりました。僕は預言者になりました。一番先に一人で出たのですごく緊張しましたが、何度も練習したのでうまくできたと思います。一番緊張したのはキャンドルサービスです。なぜならキャンドルを倒しそうになったからです。次はパーティーです。カレー1杯、ポトフ2杯、ロールケーキ2個、エクレア3個、いちご5個、ファンタ5杯、静岡茶3杯を、食べて飲んで幸せでした。その後クイズをして、「冬でも暖かく過ごせる時代は」と問題を出しましたが、春日部7団の子に当てられて残念でした。プレゼント交換では、アメと甘栗とカードをいただいてうれしかったです。また来年も、こんな楽しい会ができるようにと祈って、献金のために5円玉集めようと思い、5円玉の穴に糸を通してもう11個貯まっています。ありがとうございました。

娘がスカウトに入団したのは、小学三年生でした。

あれから早十年。今春からは、リーダーになる年になってしまい、親の私としても感無量であります。

入団の際、団委員長から、「ガールスカウトは、お稽古事とは違って結果がすぐに見えたり出たりするものではないですよ」とのお話にもよく理解できなかったことを今でも覚えております。しかし、十年経った現在、ガールスカウトに入れて良かったと心より感謝し、その成果も娘の姿を見て感じております。娘自身も、学校での掃除当番などでの迅速な行動で褒めてもらったり、ホームステイ先のオーストラリアではガールスカウトの話題で友人が出来たりと世界とも繋がっている事も実感出来たりして喜んでおります。

人は一人では生きていけなく、支え合って世の中が成り立っている事も理解し、その中で自分は何が出来ののだろうかと思ったりスカウト活動を通じ、現在も模索中なようです。

私自身もスカウトの保護者として様々な事に参加させていただき、自分の力が人の役に立て喜んで戴ける事が嬉しくて毎年のバザー参加を楽しんでさせていただいております。そして、スカウトのおかげで沢山の方々との出会いがあり、親睦がもて親友と思える位の友人も出来ました。子供のおかげで出会えた方々が今はかけがえのない自分にとって大切な友人達になってしまった事もスカウト活動に出会えたおかげと感謝しております。

今後もアダルト会員として何かお役に立ちながら自分自身楽しんで参加させていただこうと思っております。どうぞ宜しくお願いします。

*次は、ガールスカウトの父母の寺本さんにつなぎます。

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ
カタログ
リーフレット
パンフレット
名刺
DM
その他広告&
販売促進ツール

ハイグレード
格安

デザイン・印刷
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブンス CALL 03-3583-0877
〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F FAX 03-3589-5181
Mail info@7sense.co.jp

graphical venture boomment



いくことで、実際に地域に根付いたボランティア活動に一日参加する日があり、実践力を求められました。

今回 JLS を通して人種や国籍、年齢、育った環境が違うのはもちろんですが、学生、弁護士、教師、警察、マスコミなど職種も様々なリーダーと出会うことができ、全ての議論において新しい発見がありました。セミナー中のほとんどがディスカッションやグループワークを通じて学ぶプログラムとされており、言語の問題もあるものの、各参加者のガールスカウトへの取り組み意識が非常に高く、とても良い刺激を受けました。世界連盟も 2010 年で 100 周年を迎えます。今後このような機会は益々増えると思いますので、世界に興味があるスカウトは、今後ぜひとも日本連盟・世界連盟の活動に積極的に参加してほしいと思います。

2009年8月23日から29日までの7日間、ケニアのナイロビにて20～30歳までのヤングリーダーを対象としたジュリエットローセミナー（以下 JLS）が開催され、日本連盟を代表して参加してまいりました。

今回の JLS には過去最大の 60 カ国から 64 名の参加となり、“A Safari... in Leadership”をテーマに、次世代を担う若い女性に焦点を当てたリーダーシップの開発に取り組みました。中にはサファリで BIG5 と呼ばれている動物（ライオン、バッファロー、白サイ、象、ひょう）の特徴を捉え、それぞれにどのようなリーダーシップの特性があってサファリで共存しているかなどを考えたり、セミナーが終わる頃には自分がどのような動物でどのようなリーダーになっていたかというようなことを考えたりと、ケニアの土地柄を生かした内容のお題も盛り込まれていました。

また一番のポイントは、世界連盟が推進する“アドボカシー（提唱活動）”の理解と実践に向けて行動して



※アドボカシー（提唱活動）

私達が人々の暮らしを良くするために「自分たちで学び」「メッセージを伝え」「実践し」、社会に影響を与えること



12月12日はクリスマス礼拝とパーティーの日でした。私たちジュニアは会場の飾り付けをしました。パーティーではシニアの人が作ってくれたケーキやチキンを食べました。全部とてもおいしかったです。その後、レンジャーの人がキャンプの体験の紙芝居を見せてくれました。わかりやすくとてもおもしろかったです。最後は、プレゼント回しをして楽しみました。みんな楽しんでいて会場を飾り付けして良かったと思いました。

菊章を取得して ボーイ隊 瀬川太郎



私は、幼稚園年長のときにビーバー隊に入り、それからビックビーバーになり、カブスカウトに上進して「うさぎ」、「しか」、

「くま」、「くま」では組長をやり、ボーイ隊に上進しました。この間は約 9 年間ボーイスカウト活動ががんばってきました。私はこの菊章を 9 年間の集大成だと思っているのでとても感動しています。

この章を取得するに当たって、私自身が今まで学んできた技術や知識を教えてくれたボーイスカウトのリーダーや、ガールスカウトのリーダー、ベンチャー隊やローバー隊のやさしい先輩達がいるこの章を取得することができたのでとても感謝しています。

私が、リーダーや先輩に教えられたことを後輩に教え、また、ベンチャースカウトに上進したら、富士章を目指してスカウト活動に磨きをかけてがんばっていきます。

おいしかったおもち ブラウニー 清野朝咲



わたしは、おもちをつく前におもちを食べました。一番おいしかったのが、納豆味のおもちでした。

納豆とおもちが、納

豆とご飯みたいに合うのですごくおいしかったです。ほかにきなこのおもちやのりをまいたおもちも食べました。そしておもちをつく時にきねが重かったので、気をつけながらおもちをつきました。

そして作る時に粉が付いていて大変だったけど、自分で作ったおちは納豆よりほっぺが落ちそうでおいしかったです。

持ち帰った私のおちは、小さくちぎってのりを巻いたりチーズをはさんだりしました。

私は家で、作ったおもちをお母さんに見せたらお母さんは「おいしそう」とよろこんでいました。おもちつきことは一生忘れずに心に残りました

ダッチ・オーブン ボーイ隊 川上尚記

「ダッチ・オーブン」の使い方を習って料理を造りました。「ダッチ・オーブン」とは、アメリカ西部開拓時代に、オーブンをオランダ人(ダッチ)が売っていたので「ダッチ・オーブン」という名前がついたそうです。

このダッチ・オーブンでスタッフド・チキンをつくりましたが、とても上手く焼けたのでとても美味しく食べました。



*ダッチオーブンは、ふた付の鋳物製の鍋で、アメリカ開拓時代から続くアウトドア料理用の調理器具です。

鍋とはいっても普通の鍋とは違い、蓋の上からも加熱して「焼く、炒める、煮る、蒸す揚げ」など大抵の料理がこの鍋ひとつで、できてしまいます。しかも、簡単ですごくおいしく出来上がり！とても不思議です。これがこの鍋の計り知れない魅力で、まさに「魔法の鍋」です。

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄楽園

SHIMAZU PARADISE

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00

第20回 ボーイスカウト研修会



3月13日(土)、BS、GS団関係者42名、外部からの参加者38名、合計80名の参加者を迎えて、杉原団委員長に

よる第20回スカウト研修会が開催されました。

「スカウティングの源流を探る」～スカウト教育の本質を考える～をテーマに下記の項目について講義を受けました。

1. 教育を取り巻く環境の変化
～ 教育基本法の改正後を踏まえて ～
2. 塾・けいこ事、控え気味
～ 青少年の置かれている現状から ～
3. 歴史を心に刻む
～ 言葉の人、ヴァイツェッカー大統領のメッセージより ～
4. スカウト運動の小史から学ぶ
～ B-Pの生まれ育った時代を考察する ～
5. B-Pが考察されたスカウティング
～ 神へのつとめ、人へのつとめ、自分へのつとめ ～
6. ちかいとおきての実践
～ モットーとスローガンとの関わり ～
7. 子どもの発達段階の特性を活かす
～ 特性を活かしたプログラム活動 ～
8. 明確な信仰をもつことを奨励する
～ スカウトズタウンと信仰奨励章の活用を推進する ～
9. Gift (ギフト: 才能) を活かす
～ ローバーリング・ツウ・サクセスから ～
10. Once a Scout, always a Scout
～ 永遠のスカウトを想う ～

本日の研修で、我々が実施しているスカウト活動における指導が現社会にとって、大変重要な要素となっています。この現状を踏まえ、胸を張って、スカウト活動、スカウティングを指導、実践していく自信が持てました。そして、活動を現状維持ではなく、スカウティングの源流を理解したうえで、活動したいと感じました。

最後に、この20回をひとくぎりとして終了させたい、と挨拶がありましたが、今後も継続していただけることを期待しています。(内藤正樹)

研修会に参加して

ガールスカウト 福島県第1団 渡辺美知子

プレゼント!!

ガールスカウト活動を続けている中で、戸惑いをおぼえて、ふと立ち止まっていた時期に、杉原さんの研修会が開催されていると、4団の矢澤さんからお誘いをうけました。

スカウティングの原点に立ち、正しい方向性へと導いてくださり、私にとっては「心のプレゼント」をいただき続けています。

スカウト運動が始められた時代から社会環境が変化していますが、道徳的、精神的価値は変わらないものと思います。

しかし、現在のスカウティングの中で、あまりにも多様化していることが多く、基本的なことを振り返ることが少なくなっている気がするのは私だけでしょうか?活動の進め方は違っても目指すものは同じで共通理解が必要だと思います。

諸先輩の背中をみて、活動できる私たちは幸せではないかと感じます。

杉原さんのお話で強く思うことは、次の世代へのバトンタッチをして、区間ランナーを努めることが私たち世代の役割。そんな気持です。

霊南坂教会の皆さまに温かく迎えていただき、深く感謝申し上げます。これからもメッセージを届けていただけます様をお願い致します。

杉原さん「プレゼント」ありがとうございます。

天波り家

日本ペイント

営業時間
11:30～14:00
18:00～21:00予約
定休日
日・祭日

〒140-0004 高玉 大が調理します
東京都品川区南品川4-6-3
電話・FAX: 03-5460-5519

◇インタビュー・編集、安藤昭良

前号の8頁左最終行に下記一行が脱落していました。

教会に育成団体となってもらったのは、それなりに意

前号より続く

I: この狭いテント一つに全員が寝たわけ。

古い、ボロボロで関東大震災の時の救援のおさがりなんです。これだって、あれば大変なもんだった。もちろん当時はユニフォームなんかなくて、あるのは「4」のぬいとりだけだった。

ほら、この写真なんか見ると皆白いシャツを着てる。

A: ははァー、あ、これはラリーの写真ですか。

I: そう。最初のラリー。

戦後、最初に東京1〜5隊と横浜1隊が同時に発足したわけだけど、これはその6隊が合同でやったものです。場所は確か神宮外苑（今のラグビー場）だったように思う。

これが4団のデモンストレーション。君達もやった事があるかも知らんけど、新聞紙なしで、ナイフとナタだけで、マッチは二本で火を着けて、上にかけてある缶の石鹼水を沸騰させる。

吹きこぼれて火が消える。このゲームはこの頃からあるものです。それからこの写真、一人のスカウトがどれだけ速く、多くのなわ結びを結べるかというもの。

これは金海君が一番早かったな。確か20種類を1分以内でやってのけた。現在の君達には出来るかな？

A: イヤー、すごい。

I: こういった事は当時、他の隊にない事だった。ほら、これなんかは5隊のデモンストレーションですが、ターザンのスタイルをしたパレードですね。だから圧倒的にレベルの差を示した。

我々は鼻高々だったもんです。当時のスカウティングで問題になっていたのがカリキュラムだった。米国のスカウトがやっている事が、果して日本のスカウトにでき得るのかどうか。私はむこうのスカウティングを経験していたし、それゆえ私はやれると確信していた。そんなわけで4隊はいろんな意味で模範隊だった。もちろん技術的にはとび抜けていたしね。私の所属していたホノルル36隊にもそんな傾向がありましたが。しかし決してそれだけではなかった。体力づくりもやったし、歌もうまかった。たとえば志水なんかね。だいたい当時英語で歌える人聞というのはザラにはいなかったんです。

A: 本当に当時は暗中模索で実験的だったわけですね。

I: そう。実験的でした。リーダーシップというものには

本当にうるさくこだわりました。僕はもともとリーダーシップは誰にもあって、それをどう引き出していかかが問題だと考えたんです。そこで班長を交代制にしてみたり、上級班長を設けてみたり、選挙をさせたりしたのです。当時は民主主義という言葉がよく用いられたけれども、実際どんなものであるかをほとんどの人が理解していない。そこで身をもって教える、とそんな面もあったようです。まあ、結局班長は私がこうと思ったスカウトが務めたのですが…。それからもう一つ。このラリーが終わった時、後かたづけのそうじをしたのはうちの隊だけだったのです。

* 今井氏はその他にもいろいろ説明をしてくださった。今井隊長のもと、スカウト達は現在から見ても大変なことをあの戦後の混乱期にやってのけたのだった。いつしかアルバムページは一巡して最初に戻っていた。

A: するとこれこそ最初の4隊の写真なんですね。

I: そう。(そう言って一人一人の説明をした。)…これがウィリアムズ氏。

A: ウィリアムズ氏のことについて少々話してください。

I: ウィリアムズ氏は進駐軍軍属で日本に来ていました。もともとは教育者だったのですが、進駐軍では経済局にいて、化学(染色)の仕事をしておられました。勤務している部署が部署だけに相当に経済面の援助をしていただきました。彼のおかげで現在と同じカラーの純綿の二色染めのすばらしいネッカチーフができたわけです。このカラーは私のもといいたホノルル36隊のものをそっくりいただいてきているのです。しかし当時としては純綿のネッカチーフなんて本当に貴重品でした。今にして思えば、4隊の活動がユニークだったのはこの辺りの事情もあったわけですね。私が隊長をやっていく上でやはり、小崎先生とウィリアムズ氏の理解が何よりも大きな支えになりました。

A: あの、隊長をお辞めになって、それからボーイスカウト運動からも手を引かれたことのおきさつをお話し頂けないでしょうか。

I: ええ。先に言った通り、隊長を3年やり、その間日連の仕事をしており、米国に留学しました。帰国後、しばらくの間、また日連で仕事をしましたが、じきそれもやめました。早い話、経済的な問題が大きかったのです。ボーイスカウトでは食べていけない、ということですね。
*続きは次号に掲載予定です。

オリンピックが終わって、気が抜けてしまったようで、不覚にも2、3日寝込んでしまいました。何を書いたらいいのか迷ったすえ、選手村のことを書きました。競技や選手については報道されるので、繰り返すこともないかと思いついて。

先週から仕事とGG(ガーガイト)にもどりました。今週末には週末キャンプにでかけます。そして来月は地区キャンプと行事が続きます。

オリンピック選手村は塀に囲まれた縮小世界です。しかも4年に1回という期間限定で同じ場所に同じ顔ぶれが揃うことはありません。この塀の中に入出りできるのは各国の選手、役員、警察関係、バンクーバーオリンピック組織委員会関係、そしてボランティアです。

各国の宿泊棟にはそれぞれの国旗や工夫を凝らした垂れ幕や横断幕がつけられ、自国のアピールと、選手の士気を高める役を担っています。日本選手団は「謙譲の美德」精神に則り横断幕をひとつ出ただけで、同じ棟に入ったスイスとデンマークチームの旗やポスターの数に押され気味でした。(後で横断幕が3枚に増えましたけど。)

選手村内では選手、役員のユニフォーム着用が義務付けられています。これはオリンピックの sponsor ではないブランドのロゴが氾濫するのを防ぐためです。ユニフォームといっても式典用からトレーニング用まで色々あるので、自分なりに組み合わせ個性を出すことができます。

そういえば、どこかの国の選手が個性を発揮すぎてバッシングされましたっけ。お国柄は着るものだけでなく色々なところに現れます。



長島圭一郎選手 筆者 橋本聖子団長

例えば、オランダチームは支給された自転車で村内はもちろん、近場の外出を楽しんでいましたし、スイスチームにはチョコレートの差し入れがダンボールでいくつも届いていました。韓国チームはキムチを大量に冷蔵庫に保存し、パラリンピックでその部屋を使うことになった日本チームは消臭に手を焼いたそうです。

選手やボランティアは自由に外出ができますが、本部を守る役員の人たちは村外に出ることがめったにありません。早くオリンピックが終わって外界で普通の生活がしたいとこぼしていられました。

その普通の生活に戻りたくなかったのがボランティアたちです。トレーニングは今年の4月からはじまりましたが、日本選手団のサポートをするアシスタント19名がはじめて顔を合わせたのは1月28日のことでした。すでに大会役員の人たち

が本部設置の為にバンクーバー入りをされていて、私たちの仕事もその日からはじまりました。

割り当てられたすべての部屋(40ぐらい)のお湯、電気、ブラインドの開閉など細かにチェックをし、本部には必要な事務機器などの設置をします。キャンプの先発隊が設置をするような感じです。思わぬところでスカウト経験が生きたわけです。

ボランティアの仲間たちは本当に気が合って、幼馴染のような付き合いがすぐにはじまりました。毎日がとても楽しく、ずっとこのままでいられたらいいのと思っていました。同じ目的で集まったもの同士が力を合わせた33日間は強い絆を作って終わりました。私にとってオリンピックで得た一番の宝物は浅田真央ちゃんのサインでもなく、数多いエピソードでもなく、「すばらしい仲間」でした。

スカウトと同じですね。

追伸：オリンピック期間中の町の様子を主人がホームページに載せています。

よかったらご覧ください。
<http://www.donhuysmans.ca/2010.html>

ど
ん
し
ん
SHOT BAR

DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に
お立ちください
詳しくは、電話かホームページで

<http://www.donshin.jp>

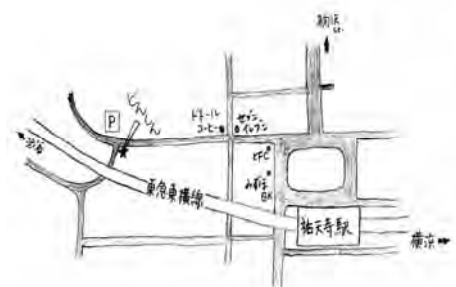
日曜定休

PM 6:00 ~

目黒区祐天寺 1-22-2 2F

03 - 5725 - 1788

OB 大槻将嗣 の店です



霊南坂スカウトクラブ 告知板

上級救命法講習会

スカウトクラブ、サポート隊では昨年到现在、上級救命法講習会を開催いたします。

日時：2010年5月29日（土）

時間：午前9時～午後4時

場所：霊南坂教会 3階ホール
予定人数40名

費用：1名2,600円（教材費）

参加お申し込みは：stp@nifty.com

田中新二まで

今年は教会関係者も参加出来る5月29日開催としました。

受講終了者には、東京消防庁より上級救命技能認定証（3年間有効）が発行されます。

霊南坂スカウトクラブ役員会

会長	小崎忠雄
	霊南坂教会役員会議長
副会長	田中新二
	クラブ会報編集長
副会長	西郷崇子
会計・団	大槻敬太郎
会計	小林孝江
会計	浅田きよみ
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信・団	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP・blog	澤田明秀
広報・HP・blog	臼井純一
教会・団	古谷久代
	ガールスカウト団委員長

スグ！役に立つ研修会

スカウトクラブではスカウトやリーダーの役に立つことを常に計画していますが、今回は参加して楽しく、すぐ使える企画です。皆さまの参加をお待ちしています。

日時：2010年6月26日（土）

17:30～19:30

場所：霊南坂教会 1Fホール

講師：山田秀一先生

費用：無料

総合体育研究所という、主に幼稚園や保育園で保育時間に体操を教えたり、課外の時間では、毎週サッカー教室や体操教室を行っている会社の課長さんで、現在は、若手の育成や、保育従事者を対象とした研修活動が主な仕事となっている方です。

頭と体を十分に使い、子どもたちの健全な心と体を育むためのノウハウを実践を交えながら、楽しく指導して下さる先生です。

港区の保育園でも、現代の子どもたちが抱えている姿勢の悪さや運動能力の低下を補っていきけるような運動遊びを知り、保育に生かしたいという思いから園内研修の

一環としてとして2回の研修を行い、すぐに使える手遊び指遊び、運動遊び、ゲームの数々を短い時間にたくさん教えていただいたそうです。

研修の間中、大人が声を上げて喜ぶ姿が見られ、すぐに子どもたちに還元されたそうです。

多くのリーダーたちに参加していただけたら、必ず楽しんで、しかも即役に立つ研修となると思います。奮ってご参加ください。

担当：小田島典子

新たにスカウトクラブ役員に就任

澤田明秀兄・臼井純一兄がブログ担当役員として参加いただきます。

皆様からの積極的な書き込みを期待します。URLは下記の通りです。

<http://reinzaka-sc.cocolog-nifty.com/blog/>

今回の会報も10ページで発行することができました。

みなさまのご協力に感謝します。

活発な活動推進のため、会報への広告提供、会費納入、未登録者の入会、賛助金等のご協力をお願いします。

編集後記

最近、自分の子供を虐待して、死に至らせる事件が頻発しています。なぜ、こんな非情なことがおきるのか？と心が痛みます。このような事件を起こす親の年少期に、親や社会が命の大切さを教えていないことが一因であると思います。

過去の学校教育、家庭でのしつけの欠陥がこのような形で表われていると言えるでしょう。

スカウト活動を通して、ベーデン・パウエル卿の教えを広く伝える重要性を強く感じています。 田中新二

 TODA
CLEANERS

 戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032

東京都港区六本木 1-3-41 (アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX : 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022

東京都目黒区柿ノ木坂 3-4-9

TEL : 03-3422-5538 FAX : 03-3421-3034